

佐久市協働のまちづくり推進会議 会議記録（要旨）

日 時：令和2年7月29日（水）

13：30～15：15

場 所：野沢会館2階 野沢会館ホール

出席者：佐久市協働のまちづくり推進会議委員12名

事務局（企画部長・広報広聴課長・広報広聴課職員・望月支所総務税務係職員）5名

1 開会

2 会長あいさつ

3 新任委員紹介

4 会議事項

(1) 佐久市まちづくり活動支援金2次募集事業の審査

ア 事務局より審査の流れ等について説明

審査は1事業ごとの書類審査

審査員1人当たりの平均点数が15点に満たない団体は、予算の範囲内であっても推薦は行わない。

イ 事務局から事業概要及び委員から団体に提出した質問についての回答説明を行ない、その後、質疑応答

ウ 審査

(ア) 佐久っと支援金事業

a 「ド根性 さくっこ事業～笑顔Saku体験から学び～」

委員：団体からの回答書に水田賃借料の根拠について何をもって妥当としたかについての記載がないが。

事務局：市の農業委員会資料を参考に団体へ確認したところ、改めて検討するとの回答だった。

委員：審査方法を書類審査としたので、書面での回答で判断するしかない。賃借料の減額があった場合は、最終的に実績報告により是正され、支援金が減額されるという認識でよいか。

事務局：予算なので、最終的には実績報告書により支援金額が確定となる。

回答書の範囲内でのご判断をお願いしたい。

(イ) 駒の里過疎対策プロジェクト支援金事業

a 中高年健康セミナー・マレットゴルフでパワーアップ

b 榊祭り・松明山ウォーキングイベント

c 望月アース・スキル・アクション

委員：気候変動についての活動だが、新型コロナウイルス感染症危機のことが挙げられないがなぜか。

事務局：申請団体の中に「MOACA」という気候変動や環境問題を専門分野にする部門がある。気候変動をメインとして講演いただくが、新型コロナウイルス感染症についても触れていくと聞いている。

委員：この事業は、佐久っとコロナ対策支援金ではなく、駒の里過疎対策プロジェクト支援金なので、新型コロナウイルス感染症に触れる必要はないと考える。

事務局：今の社会情勢から新型コロナウイルス感染症については、どの事業を行う際にも考えなくてはならないことだが、今回の支援金審査はコロナ感染症の項目が含まれていなくてもそれ以外で事業内容について審査していただきたい。

エ 結果発表

事務局より発表

(2) 佐久市まちづくり活動支援金優良事業表彰（案）について

ア 事務局より優良事業表彰（案）の概要説明

委員：選定方法は、自己評価報告書等書類の他に実施状況のわかる写真や成果物とあるが、写真は多いほうが資料として分かりやすいので、写真は多く添付してもらいたい。

申請書にも実施状況の分かる写真を多く添付するよう記載してほしい。

委員：優良事業の表彰にあたっては、市民への周知という意味でプレスリリースし、新聞やテレビで取り上げて頂きたい。

事務局：市の事業取り組みの広報や実施団体の皆さんの活動意欲に繋がるので、プレスリリースは行います。

4 その他

委員：まちづくり活動支援金の3次募集は行うか。

事務局：予算に余裕がありますので、時期を考慮しながら3次募集を行いたいと考えている。

佐久っとコロナ対策支援金については、随時募集のため、今後申請があれば審査をお願いしたい。

5 閉会